OUR APPROACH

社員の健康を、企業の力へ

健康施策を実施するだけでなく、指標で変化を確認し、継続的な改善につなげます。

01
健康投資
健診・健康教育
相談・環境整備

02
社員の行動変容
運動・睡眠
早期受診・相談

03
健康成果
生活習慣改善
不調の予防

04
働きがい・活力
エンゲージメント
安心して働ける職場

05
持続的な成長
安全・品質・生産性
企業価値の向上

目指す姿 | 心身ともに健康で、安心して働き続けられる環境づくり

KEY INDICATORS

主要指標

健診の確実な実施を土台に、心身の健康と働きがいを継続して把握しています。

法定健康診断受診率

100 %

2023〜2026年度、4年連続

ワークエンゲージメント

2.6 点

4点満点／2030年度目標 3.0点

高ストレス者率

7.7 %

2023年度 9.1%から低下

年休取得率

79.8 %

最新集計値

改善が見られる指標

精密検査受診率

31.0% → 68.2%

+27.0pt

運動習慣比率

26.3% → 42.1%

+15.8pt

飲酒習慣者率

19.9% → 10.6%

-9.3pt

時間外労働

33時間 → 20時間

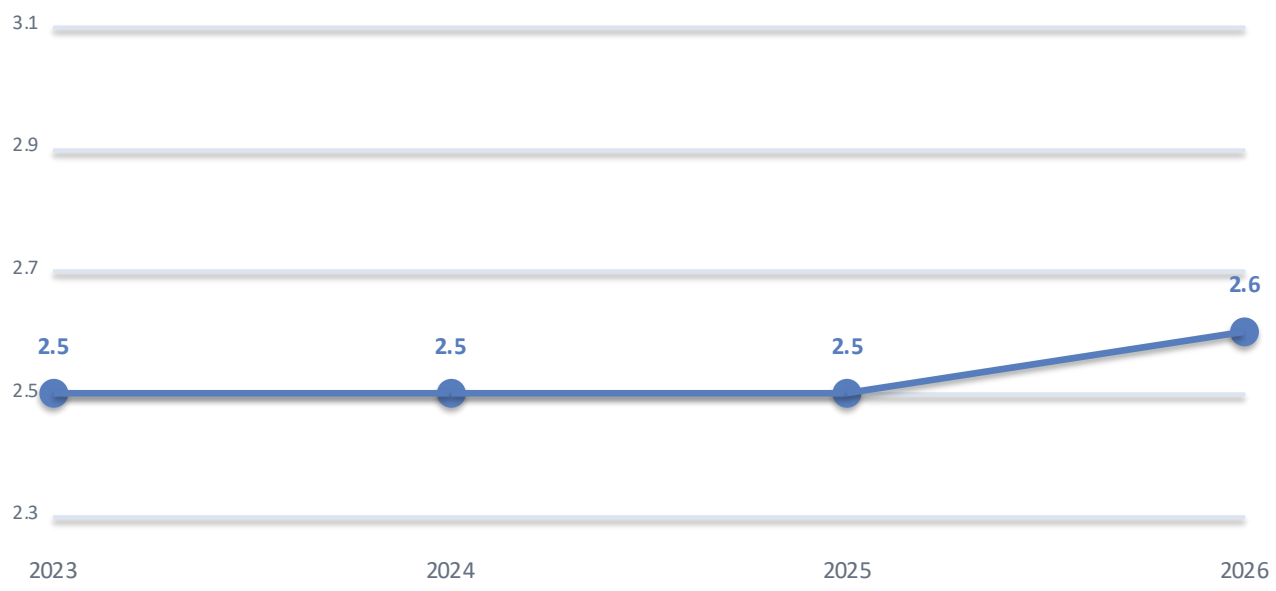
-13時間

注：各指標の対象者・回答者・回答率は次頁に掲載。

こころの健康と働きがい

仕事に対する「活力」と「熱意」を4点満点で数値化し、働きがいの変化を継続的に確認します。

ワークエンゲージメントスコア（4点満点・高いほど良好）



経年推移：2.5点（2023〜2025年度）から、2026年度は2.6点へ上昇

エンゲージメントスコアとは

仕事に前向きに取り組めている状態を示す指標

「活力」「熱意」に関する回答を集計し、1〜4点で表示。数値が高いほど良好です。

2026年度の結果と見方

スコア 2.6点　（2025年度比 +0.1点）

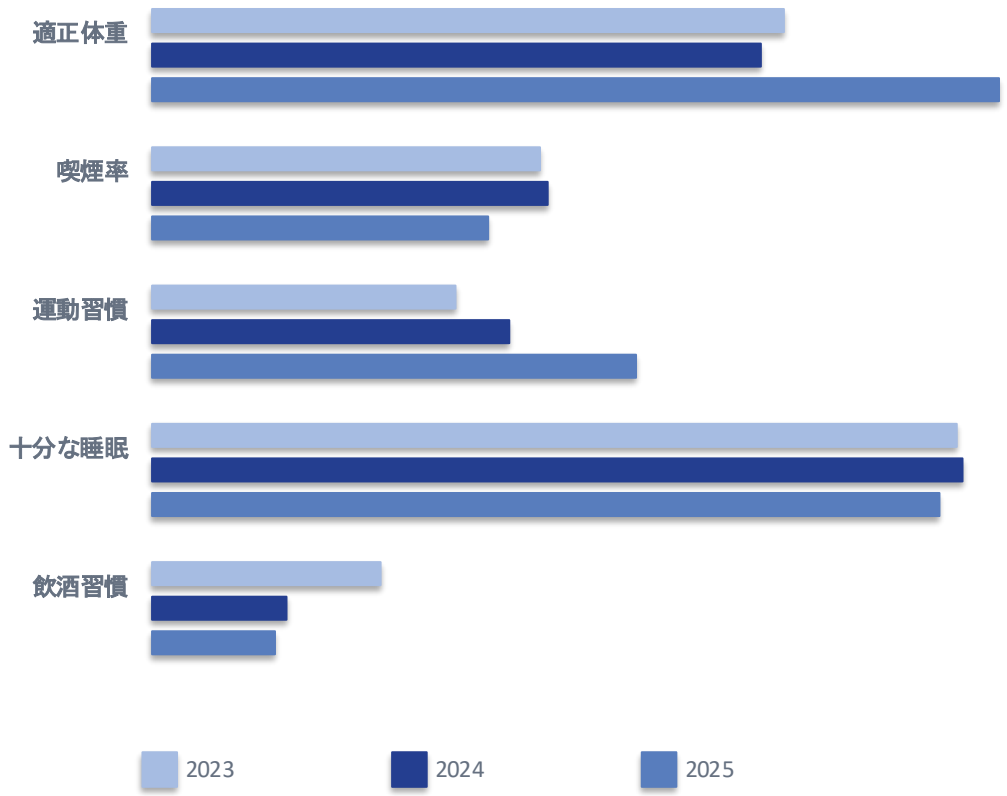
対象者 422人　／　回答者 396人　／　回答率 94%

測定：新職業性ストレス簡易調査票（80項目版）

2030年度目標 3.0点

生活習慣の改善

運動・飲酒・喫煙などの行動指標を把握し、健康づくりのきっかけを広げています。



運動習慣比率

26.3% → 42.1%

上昇

飲酒習慣者率

19.9% → 10.6%

低下

喫煙率

33.7% → 29.1%

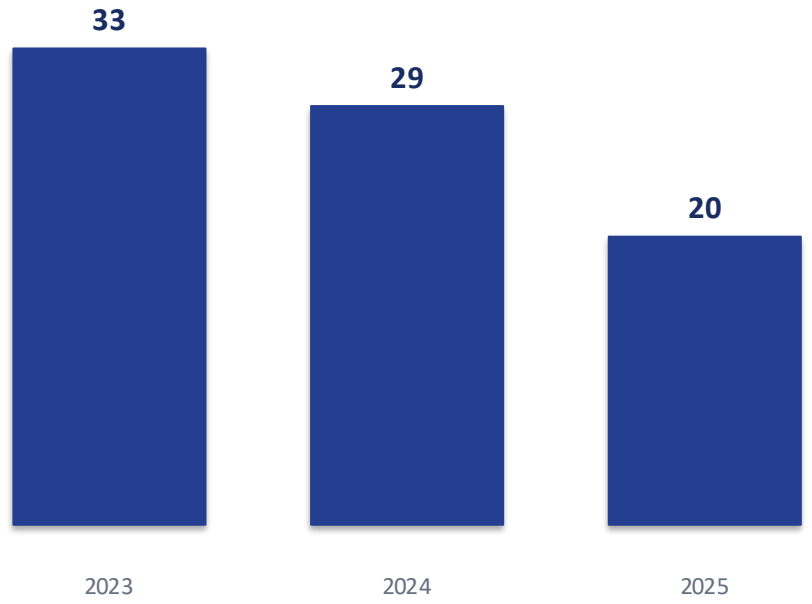
低下

注：生活習慣指標は2023〜2025年度の集計値。

働きやすい職場環境づくり

健康と働き方を一体で捉え、時間外労働・休暇取得・休職状況を継続して確認します。

時間外労働（時間）



年休取得率

79.8%

75.8% → 68.5% → 79.8%

アブセンティーズム

2023年度　0.99%
2024年度　0.97%
2025年度　0.71%

傷病休職者の割合は低下傾向

プレゼンティーイズム

2026年度より
集計開始

アブセンティーズムの見方

全従業員に占める傷病休職者数の割合を把握する指標です。数値が低いほど良好です。

2023年度	2024年度	2025年度	3年間の変化
0.99%	0.97%	0.71%	0.28%低下

算出方法

傷病休職者数

÷

全従業員数 × 100

＝ 全従業員に対する傷病休職者数の割合

集計対象・データ

対象者	各年度の全従業員
使用データ	傷病休職者数・全従業員数の人事データ

注：各年度の傷病休職者数を、同年度の全従業員数で除して算出しています。

多様な健康課題に寄り添う取り組み

全従業員への健康教育と、ライフステージに応じた支援を進めています。

01 免疫・健康づくり

免疫をテーマにした講演を
全従業員向けに実施

02 女性特有の健康課題

職場への生理用品の配備を推進
全従業員に研修を実施

※eラーニング受講率100%

03 仕事と介護の両立

全従業員を対象に
両立支援の研修を実施

※eラーニング受講率100%

04 男性の育児休業

全従業員・管理職向けに
制度理解を促進

※eラーニング受講率100%

05 熱中症対策

暑熱環境で働く社員のための
講演・啓発を実施

06 健診後のフォロー

精密検査受診者への
保健指導を実施